

特集

Special Feature

ならじよ  
×  
奈良ローカル



高野 敦夫(たきの あつお)  
生活環境学部住環境学科講師  
→P14 教養広場



木田 麗女(きた めい)  
大学院人間文化研究科  
博士前期課程住環境学専攻20期生  
出身校:兵庫県立加古川東高等学校  
→P9 特集2 奈良女LIFE



地内 彩織(いけうち さおり)  
大学院人間文化研究科  
博士前期課程  
住環境学専攻2期生  
出身校:奈良県立奈良高等学校



下川 千晴(しもかわ ちはる)  
大学院人間文化研究科  
博士前期課程  
住環境学専攻2期生  
出身校:熊本県立第二高等学校



室伏 祐美(むろふし ゆみ)  
生活環境学部  
住環境学科4期生  
出身校:静岡県立韮山高等学校

- 02 **特集1** 奈良の魅力を「ならじよ」から発信  
【対談】奈良女子大学長 今岡 春樹 × 薬師寺 僧侶 村上 定運  
【対談】奈良女子大学長 今岡 春樹 × 認定NPO法人アグロ音楽クラブ理事長 水野 恵理子
- 06 地方創生に貢献する「やまと共創郷育センター」の活動に迫ります
- 08 **特集2** 奈良女 LIFE
- 11 酒造りで谷瀬の魅力発信～住民の温かさに触れて 共に目指す地域活性～
- 12 教養広場
- 15 本号の学生記者、協力学生! / 学生表彰
- 16 奈良で活躍する卒業生からのメッセージ
- 17 クラブ紹介
- 18 入試情報 / 就職情報
- 19 Campus Topics / なでしこ基金
- 20 東野圭吾の作品をベトナム語に翻訳した留学生のハイハーさんにインタビューしました!!



表紙写真: 称念寺(奈良県橿原市)の解体現場にて

# 奈良の魅力を「ならじょ」から発信

古都・奈良の歴史や文化と共にある奈良女子大学。卒業生には、奈良の伝統を守り、新たな魅力を作り出す活動に取り組む方がたくさんいらっしゃいます。今回は、附属学校卒の村上さんと奈良女OGの水野さんを迎え、今岡学長と共に語っていただきました。



「対談」薬師寺 僧侶 村上 定運

奈良女子大学長 今岡 春樹 ×

村上 定運(むらかみ じょうるん)

1998年附属小学校卒業後、12歳で得度、薬師寺の僧侶に。2004年附属中等教育学校卒業後、2012年早稲田大学大学院文学研究科修了。現在、薬師寺加護主事として修学旅行生をはじめ年間約3万人に説法を行う。今年3月に田中ひろみ著「お坊さん」に108の智慧にてインタビューに答えている。



今岡 春樹(いまおか はるき)

工学博士。通産省工業技術院繊維高分子材料研究所技官、奈良女子大学家政学部助教授を経て、2001年奈良女子大学教授、2011年生活環境学部長を歴任。2013年に奈良女子大学学長に就任した。専門研究分野はアパレル工学。

## 附属学校で学んだ自由な発想と感謝の心を法話に生かす

く薬師寺メソッドですね。特に若い人に伝えている。その場で全てはわからなくても、ある時人生の中でずっと理解できる瞬間がくる、そんなイメージを持ちました。

村上 年間約3万人にお話をさせていただいています。そのうちの1%にでも届けばと思っています。私の話を聞くことで少しでも人生がプラスになれば、そして大人になっても、また薬師寺に来ていただきたい。そのためには、彼らが大人になった時に来てもらえる場所であり続けなくてはならない。この繰り返しですが伝統となっているのだと思います。

### 12歳で薬師寺の僧侶に

学長 小学校から高校までが奈良女子大附属というものでした。僧侶になられたのはいつだったのでしょうか。

村上 中学に進学する年、12歳で当時の高田好胤(いん)管長を師匠として出家しました。父も祖父も薬師寺で出家しましたので、自然に自分もその道を行っていいです。親も先輩、師匠と捉え、家にいながら、長い休みと大きな行事の際は僧侶として過ごすという生活がここから始まりました。朝はお勤めがあり、学校よりもお寺の行事が優先。楽しかったですが、他の子供に比べると自由はなかったですね。

学長 幼い頃から薬師寺の僧侶としての道は決まっていたわけですね。奈良女子大附属小学校に進学したのは親御さんの勧めでしょうか。

村上 友人のお母様に勧められたのがきっかけだったようです。抽選で入学が決まって幸いでした。これも仏様のおはからいなのではないかと思っています。

### 奈良女子大附属で学んだこと

学長 奈良女子大附属小学校の教育はすぐ

くユニークですね。先生はそれぞれの個性を知った上で、児童たちを上手に導き、児童自身に授業をさせる。初めて見学に行ったときは驚きました。具体的に、印象に残っておられることはありますか。

村上 一般の小学校では日課の、計算ドリルや漢字の書き取りをした覚えが全然なくて、1ヶ月ごとにテーマを決めて何かに取り組むんですよ。例えば、「羊の散歩に行きましよう」というテーマがありました。校内で羊を飼っていたんですが、どんな風に鳴くのか、公園へ行ったら疲れるのか、エサを食べる時はどんな表情かなど、毎日日記に書くんです。またある時は、「牛乳パックを集めて人間が乗れる船が作れるか」というのがテーマ。いくつくらい集めたか、水に浮かべた時にバック同士が離れないようにするにはどうすればいいか、プールに浮かべてみてどうだったか、といった調子です。最後は先生を乗せて浮かべましたね。青藻だらけのプールで涼しい顔をしておられたのを覚えています。

学長 やつぱり面白いですね！

村上 すごく独創的ですね。先生は児童の個性を伸ばし、感性を尊重する接し方をしてくれていたと思います。小学校は特にその傾向が強かったですし、中等教育学校に進んでも自由な雰囲気はありました。

学長 中学に入學すると同時に僧侶になられたと先程お聞きしましたが、中等教育学校での生活はどうでしたか。

村上 学校生活は楽しかったですが、真面目な生徒ではなかったです。英語は赤点、数学に至っては1ヶ台の点数を取ったこともあり。遅刻ばかりして、授業中も教科書に落書きしてたり。

学長 でも、受験勉強を頑張った東京の早稲田大学に進まれ、さらに大学院を卒業された。関西にいれば、大学進学はもっと楽だったのでは？

のでは？

村上 たしかに、仏教学科がある大学は僧侶なら優先的に入学できる所もあります。ですが、小学校から続いた自由な空気に慣れてしまったあまり、お寺の窮屈さに耐えられない素地が自分の中にできてしまっていたんです。今まで奈良ですと過ごし、このまま大学も寺から通い、奈良で勤めて、お墓も奈良にある人生になると考えたら「いくら奈良が好きでも、これはちよつと極端じゃないか」と思えました。何か環境を変えて、自分の力で自分の自由を実現できるという経験をすることで、将来腰を据えて薬師寺にとどまる覚悟ができるのではないかと考えるようになりました。自分で何かを乗り越えた実感が欲しかったですね。ちなみに、受験勉強を初めたのは高校3年生からでした。

学長 成績を挽回するのは相当大変だったでしょう。予備校に通われたのですか？

村上 いえ、担任の先生に相談したら親身になつて勉強を見てくださったんです。「早稲田に行きたい」と言うと、親ですら本気にしてくれなかったのに、真顔で応援してくれて。その先生がいなかったら今の私はいないですね。

学長 なるほど、そういうえは大学受験の相談をしたら、先生に指導してもらったというお話はよくお聞きします。伝統ですね。先生から常々「勉強しなさい」とは言わないけど、生徒が自らの意思でやりたいと言えれば強力に後押しする。中高一貫教育というのも大きいですね。高校受験がない分、いろいろなことを考えたり、チャレンジする時間ができます。

村上 そうですね。環境学や奈良学など、1年かけてじっくり取り組むようなプログラムがあったり、留学生が頻りに来たりしていた。NHKの「真剣10代しゃべり場」という番組に2期生として出演していたのもこの頃です。この時期にいろんな人に出会ってお

### 薬師寺僧侶は絶妙な話術が評判

学長 本日は薬師寺にお伺いし、僧侶の村上さんにお話を伺います。村上さんは奈良女子大文学部附属小学校および中等教育学校(現奈良女子大附属小学校および中等教育学校)の卒業生でいらっしゃいます。

村上 よろしくお願ひします。

学長 この対談の直前に、修学旅行生向けの法話を続けて2回聞かせていただいたのですが、いや面白い。評判は聞いていたけど、軽妙な話術で古典落語を聞いているかのように感じました。どうして同じように笑ってしまう(笑)。

村上 ありがとうございます。生徒さんは会場を出られると話の内容をすっかり忘れてしまっているのですが、「面白かった」ということは覚えてくれているようです。帰ってからインターネット検索してくれているらしく、「一時は「お坊さん」と入力して画像検索すると私の写真が最初に表示されていたこともあったんです。名前すら忘れられているのはちょっと寂しかったです。

学長 「お坊さん」で検索してヒットするのまずいですね。薬師寺のお坊さんは皆さんが法話をされて、面白いと評判ですね。しかも、薬師寺の歴史がよくわかって、仏教についてもちゃんと教えてくれる。お話の内容は決まっていますか？

村上 テーマが10個ほどあるのですが、そのうち半分くらいを押さえていけば、あとは僧侶に任せられます。薬師寺の歴史や成り立ち、つまり1300年前からある寺院で、お墓や檀家がないので葬式はしない、東塔が現在修理中で、薬師三尊像がある、といったところをお話すればあとは自由です。僧侶それぞれに入スタイルがあります。

学長 「究極の語りのエンターティナー」と呼ばれた高田好胤(いん)さんから脈々と続話を聞いて、「世界を広げたほうがいい」と助言をいただいたことや、先生から応援してもらったことが、自分の人生の大きな部分を占めています。中学・高校生の間にたくさん考えて悩んだこと、その間に私に孤独を感じさせずにアシストしてくださった先生の存在があるから、今も法話で中高生の皆さんに熱く語りかけることができるのだと思います。

### 奈良女子大で学ぶ皆さんへ

村上 私はもちろん奈良女子大に通ったことではないのですが、附属学校時代に教育実習に来てくださった奈良女生の皆さんのことは印象に残っています。昔も今も、学ぶ環境を作り続けてくださっていることはすこくありがたいことだなと感じます。現在、大学で特に意識しておられることはあるのでしょうか。

学長 冒頭でもお話しした「今はわからなくても、考え続けることで理解できる瞬間がある」という、薬師寺の法話のようなことを奈良女子大の授業でももたらしたいと思っています。試みの二つとして、一般教養のやり方を2年前から変えています。それまでの座学ではなく、先生1人に対して学生5人ほどの少人数で、考えることを目的とした授業です。附属学校のスタイルに近いのですが、学生にアンケートをとったところ、「知識が増えたか」という問いにはNO、「面白かったか」という問いには「最高！」と返ってきましたよ。

村上 素晴らしいことですね。自分を育てるための最高の環境がここにはあり、育てるための意欲と能力を備えた先生がいらっしゃいます。今、奈良女子大で学ぶ方にも、これから奈良女子大への進学を目指す方にも、その幸せを実感していただきたいです。感謝の心がご自身の人生を切り開くきっかけになるはずですから。

## 障がいを持つ人と共に音楽を奏でる

**学長** 本日は、本学大学院博士後期課程(以下、ドクターコース)卒業生の水野さんにお越しいただきました。「NPO法人アゴラ音楽クラブ」の理事長としてご活躍中と伺っています。本日はよろしくお願いたします。

**水野** よろしくお願いたします。

**学長** 理事長を務めておられるアゴラ音楽クラブでは、具体的にどんな活動をなさっているのでしょうか。

**水野** ダウン症や自閉症といった、障がいを持つ子供たちと共に、ピアノや和太鼓、マリンバ、ダンスなどの様々な音楽活動に取り組んでいます。私達の活動で特徴的なのは、それと並行して学術研究も行っているところです。障がいを持つ人が音楽に関わるることによって心身の発達や機能の改善がどのように促されるのか、をテーマに研究を続けています。

**学長** いわゆる音楽療法に関わっておられるのですか。

**水野** おっしゃるとおりです。アゴラ音楽クラブでは運営に携わりながら、和太鼓やピアノを指導しています。個人の活動としては、大学や短期大学で障がい者心理や音楽療法について教えていたり、病院の外来でも音楽療法を行っています。

**学長** マルチなご活躍ですね！

**水野** そのおかげで、休みがないことも(笑)。最近では和太鼓を中心に、イベントに招待されて演奏することも多くなっています。今年7月に茨城県つくば市で開催される世界音楽療法大会に参加する予定なのですが、そこでは学会発表とアゴラのメンバーによるパフォーマンスを披露できたらと思っています。

**学長** それは楽しみです。動画で発表するのと実際見てもらうのでは伝わり方も違うことでしょうか。

## 奈良女子大で学んでよかったこと

**学長** ドクターコースに進んで「音楽の療法的効用に関する精神生理学的研究」という学位を取得していますね。音楽療法の実績を十分積んでから改めて研究をしておられるわけですが、これは何か目的やきっかけがあったのでしょうか。

**水野** 音楽療法はまだまだ認知度が低く、医師からも「効用があるという根拠がない」「単なるレクリエーションではないか」といった言葉をずいぶん聞きました。音楽療法の効用を納得してもらえれば根拠や数字をもって伝えたいとずっと考えていたんです。ある時、機会があつて脳の研究をしている施設を見学し、その際、私の活動や研究したいと考えていたことを伝えてみたんです。すると、「大学等の機関に属さず、学位もない方には無理です」と言われまして。これは大学院に入って学位を取らなくてはならないと。

**学長** 当時は国内はもちろん、海外でも音楽療法を科学的に研究した論文はほとんどなかったでしょうね。

**水野** あまりなかったですね。なので自分で研究してみようと。和太鼓をしていたので、脳波をとったり動作分析ができる場所がないかと思い、調べてみると奈良女子大がピッタリでした。

**学長** まだ手を付けている人が少ない分野で、しかも大学で学んだ哲学とはずいぶん手法が違う。なかなか手強かったのではないですか。

**水野** 苦労はたくさんありました。まず実験というものが私にとっては初めてのことでしたので、脳波はとうやうやとるのか、PCでの解析はどうするのか、といったところからのスタートです。我ながらすごい馬力だったなあと思っています。

**学長** いろいろご苦労があったと思います

## ギリシア哲学と音楽療法

**学長** 奈良女子大文学部附属中学・高等学校(現 奈良女子大附属中等教育学校)を卒業され、神戸大学でギリシア哲学を学んでおられたとか。音楽療法にはどのように出会われたのですか。

**水野** もともとピアノを習っていて、音楽の道に進もうと思っていました。ですが、高校生の頃に哲学にも興味を持ち始め、転向したんです。音楽からは離れるつもりでしたが、哲学を学んでいくうちにプラトンやアリストテレスが「音楽は精神と身体バランスをとるもの、人間形成に必要なもの」と言っていたことを知り、自分の今までの道が繋がっていたと感じました。

## 「対談」 奈良女子大学長 今岡春樹 × 認定NPO法人アゴラ音楽クラブ理事長 水野恵理子



## 障がいのある子供たちの成長と活躍を促す音楽の効用

が、奈良女子大で学んでいかがでしたか。

**水野** すごくよかったと思っています。新しいことにもたくさんチャレンジしました。特にドクターコースでできるようになったのは、英語で海外に発信することですね。英語論文を書いて海外の雑誌に投稿するという、今まで考えもしなかったことをするようになった。今でも論文を書く際は海外にと考えるのは、自分にとって大きなプラス要素でした。

**学長** 海外に目を向けることによって、同じことに興味を持っている人の数がぐんと増えますね。水野さんの論文を読んで、「もっと詳しく知りたい」といった反響もあったでしょう。

**水野** ドイツからアゴラに見学に来られた方がいらつしゃいました。「和太鼓の研究を

**学長** 離れていたつもりなのに。素晴らしい。音楽を学びながら哲学に興味を持ったのは、必然だったかもしれないですね。障がいを持つ子供たちと音楽を始めたきっかけは何だったのでしょうか。

**水野** ピアノをずっと教えていたのですが、ある時、生徒さんの弟に自閉症の子がいるんだけど見てもらえないかとお話をいただきました。彼は自閉症の中でもサヴァン症候群といわれる優れた能力の持ち主だったんです。最初はピアノの前に座れないくらい動き回っていたのが、やがてリズム感や音感が素晴らしいとわかりました。当時は、自閉症の兄とその弟を描いた「レインマン」という映画が公開されたり、書籍が出版されるなど、自閉症のことが少しずつ一般に知られるようになってきてい

水野 恵理子(みずの えりこ)  
2011年奈良女子大学人間文化研究科博士後期課程修了。NPO法人アゴラ音楽クラブ理事長。音楽療法士として障がいを持つ人達の音楽活動を支援すると共に音楽の効用に関する研究や後進の指導に当たっている。

するならば日本に水野という人がいるから聞いてみたら」と大学で言われたとか。

**学長** 音楽療法でも和太鼓で研究されているケースは少ないでしょうね。

**水野** ほとんどないと思います。ミュンヘンに講演に行った時はすごく面白がられました。障がいを持つ子供が二つの楽器に20年も打ち込み、人前でパフォーマンスするというケースは滅多にないですね。ただ、ある時「それは音楽療法ではなく、音楽教育ではないか」とも。

**学長** なるほど、欧米ではそのような線引きがきちりされているケースが多いですね。

**水野** 日本と海外との音楽療法のあり方が異なるのも発見でした。奈良女子大で学んで、いろんな見方が広がったと思っています。

ました。実際に彼と接して、音楽によって彼が成長していくのを見て、これは素晴らしいと思いついて。そこから障がいを持つ生徒が増え、1988年、アゴラ音楽クラブの前身である「スペースアゴラ音楽教室」を開設しました。小児科で音楽療法士として子供たちを診るようになったのはそれから15年後です。

**学長** 障がいとひと口に言っても、それぞれいろんな個性があることだと思います。最初はどう教えればいいのか、葛藤があつたのではないのでしょうか。

**水野** すごく動き回っている子もいれば、音楽が始まったとたん泣き出す子もいたり、最初は驚くことばかりでした。ですが、教えていくうちにそれぞれが大きな個性なのだと思うようになりました。

**学長** 「大きな個性」とは、いい言葉です。教えているつもりが、教えられることもたくさんあるでしょうね。

**水野** そのとおりです。音楽を教える時いつも面白いと思うことがありまして。指導者と対象者が1対1の時より、対象者が複数いるほうが上達が断然早いです。

**学長** お互いが意識し合つたんですね。

**水野** そうです。最初は私とメンバー1人ずつの関係性ができるのですが、やがてメンバー同士でのコミュニケーションができていく。そうなる上、上達スピードや演奏の質が全然違います。例えば、自閉症の人は他者に注意を向けられないと一般的には言われていますが、音楽をやってみると全くそんなことはないんです。次に演奏するのは誰か、など周囲を気遣うんですよ。今も驚きと発見の連続です。

**学長** 演奏するメンバーの1員となり、求められるという感覚が成長に繋がるんですね。障がい者も健常者も大きな部分は同じだということがよくわかります。

## 後輩たちに伝えたいこと

**水野** 奈良の魅力は、街がこじんまりとしていて、しかも濃い空気が流れているところだと思います。人間関係もそうだし、シルクロードの終着点と言われ世界中の多様性を受け入れた歴史を随所に感じます。

**学長** 1000年以上の圧縮した空気がありますね。少し考えたり、意識して感じていると確かにある。

**水野** 奈良女子大も同じ空気があって、こじんまりとしていて、とても雰囲気がいいと感じていました。広い世界に発信する拠点としては最適だと思います。大学は、高校までとはまた違った人間関係が築ける場。後輩の皆さんには、広く世間を見つめるきっかけを掴み、自分の考えをどんどん主張して欲しいです。

**学長** 本学は人生の基礎としての勉強の場であるとともに、水野さんのように社会に出てから問題意識が芽生えた際にも最先端のレベルで学べる場所であり続けることが使命だと思っています。奈良という素晴らしい場所を拠点に、大きく羽ばたいていただきたいですね。

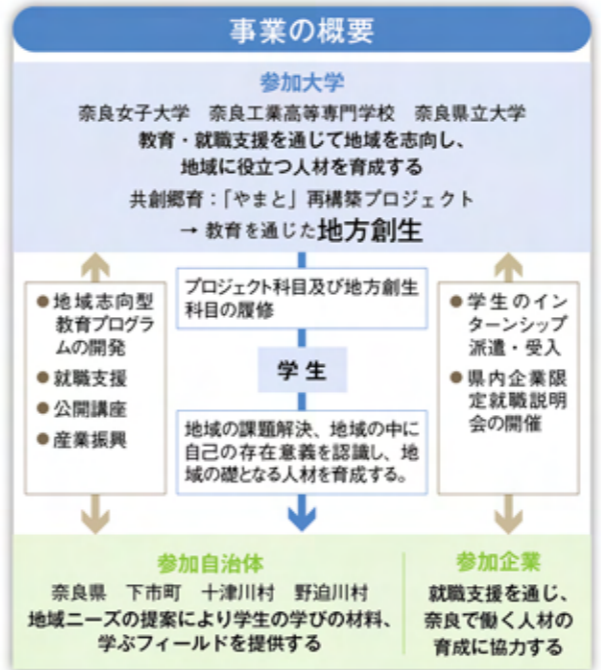
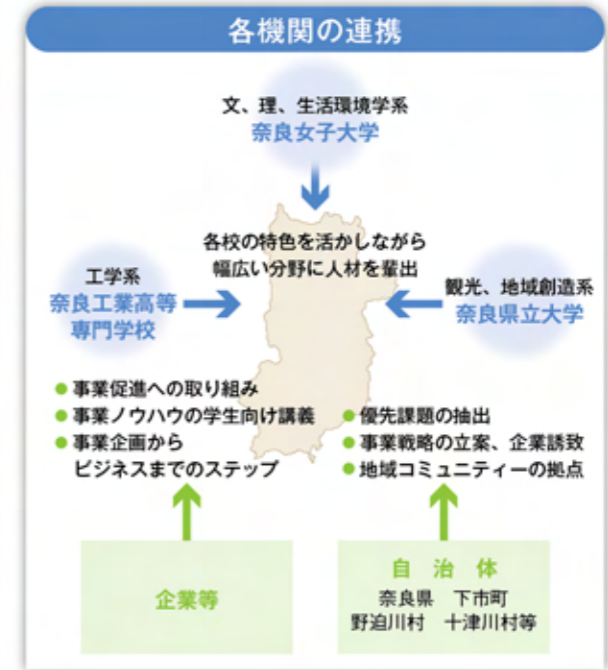


ピアノ指導の様子

やまと共創郷育センターは文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+事業)に採択されたことにより設立されました。COC+事業は、地方の再生・活性化のために大学が地域コミュニティの中核的存在(Center of Community)となる事業ですが、「プラス」が付くこの事業では、地方創生の中心となる「ひと」を定着させること、つまり、大学を卒業した人たちの地元定着率を向上させることが目的です。大学は地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をすることともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムを用意する必要があります。COC+事業は、東京や愛知、大阪等の大都會を除く、北海道から沖縄までの42道府県が参加する全国規模のプロジェクトです。

奈良県におけるCOC+事業は、奈良県におけるCOC+事業は、奈良県が基幹校となり、県唯一の工学系の教育機関である奈良工業高等専門学校および地域創造学部を擁し、観光学等の視点から地域活性化に取り組む奈良県立大学とともに、各々の教育機関が持つ特色を活かし取り組んでいます。

平成27年12月に開始した本事業は、実質2年度目です。昨年度は、



## やまと共創郷育センターの教職員の方にインタビュー!!

奈良女子大学ではどのような活動が行われていますか

昨年度は、「キャリアデザインゼミナールC(4)日本一の奈良を知る」の中で県内企業の魅力を伝えました。11月には「奈良県内企業魅力発見セミナー」を開催し、休日にも関わらず、また1、2回生の学生にもたくさん参加いただきました。また、学生が県南部で活動する際の拠点として、野迫川村に「野迫川村交流センター」、下市町に「下市アクティビティセンター」を開所しました。これらのサテライト施設は、教職員学生と地元住民の方々の交流を深める「コミュニティスペース」として



やまと共創郷育センター支援室 宇野宮 玲以 係員  
やまと共創郷育センター 成瀬 九美 センター長  
やまと共創郷育センター支援室 小西 弘 室長補佐

でも機能します。今年度は、「なら学+プラス」を後期に新規開講します。県内企業や自治体からゲストを招き、地域社会の抱える課題を見つけ、働き方を考える授業です。また、十津川村に学生の学習活動拠点を整備します。

奈良女子大学と企業には、どのようなつながりがありますか

COC+事業参加企業には、「奈良県内企業魅力発見セミナー」の参加企業としてご協力いただきました。就職先企業の開拓においては、企業と学生のニーズを調査しマッチングする必要がありますが、奈良経済同友会には会員企業向けにアンケート調査協力をお願いしました。他の企業においても今年3月に開催したシンポジウムにご出席いただき、本事業に貴重なご意見をいただいたり、地域志向科目のゲストスピーカーとしてお越しいただいたりしています。今後は、インターンシップ、会社見学、企業訪問、本学OGや若手社員らとの交流会等の機会を提供していただけるように、県内企業との連携をさらに密にしていきます。

苦労したことはありませんか

本事業を始めるにあたり、学生への「奈良県内で就職することに対する意識調査」を実施しました。その結果、県内で就職したいという学生は495名の回答中18名でした。こ

のように奈良に関心を持つ学生が極めて少ない中でスタートしましたので、どのようにすれば学生が興味をもつて参加してもらえるのかと、授業やセミナーの広報の仕方には苦労しました。しかし、参加した学生の感想やアンケート結果を読ませていただく、大変好評でやりがいを感じます。今年度も様々な授業やイベントがありますので、一人でも多くの学生に参加いただきたいと思います。

ここでの地方とは主に奈良県を指すと思いますが、卒業と同時に奈良県外の地元へ帰る卒業生もいると思います。これはCOC+の事業としてはマイナスイメージでしょうか

この事業をきっかけに歴史、文化、産業、経済、農林業等、奈良を学んで奈良のことを客観的に見て身近な人に話れるような学生が一人でも増えてくれれば良いと願っています。奈良に定着してもらおうことがCOC+事業の目標ではありませんが、「地域に貢献できる人材の育成と地方創生」という前提に立てば、卒業後、地元に戻り、女性リーダーとして地元で活躍する学生が増えることは、奈良女子大学の使命を果たす観点から歓迎すべきことです。マイクロ(奈良県)ではマイナスかも知れませんがマクロ(全国)ではプラスと考えています。

## シンポジウムに潜入!!

平成29年3月18日(土)本学記念館にて、奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・奈良県立大学の3校による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」シンポジウム2017を開催し、COC+事業のさらなる発展のために、奈良県内産官学のさらなる協働を誓いました。

### 学生記者による参加記

会場には多くの関係者が詰めかけ、やまと共創郷育事業への関心の高さが見受けられました。自治体・企業・教員・学生によるパネルディスカッションでは、それぞれの立場から、奈良で就職することについての意見交換がなされました。採用する立場からは、学生の県外志向が多い原因として、奈良県企業の引きの弱さや学生にアピールする機会の少なさが挙げられました。また、講演後の質疑応答では、学生の県外就職志向に対する企業側からの不安の声が少なくなかったです。学生の立場からすると、地元企業について知る機会が少ないように感じていましたが、今回シンポジウムへの参加を通して身近なところで多くの事業のプログラムが実施されていることを知ることができました。そして、情報がすぐ手に入る環境にあるにも関わらず受け身になっているのではないかとということにも気づかされました。事業プログラムを活用して積極的に情報収集し、奈良県の魅力ある地元企業についてもっと知っていくべきだと思いました。



(左端) 文学部人文社会科学文化メディア学コース 寺岡 伸悟 教授  
(右端) 文学部人文社会科学社会情報学コース 3回生 岡田 玖美子

### コーディネーターからのメッセージ

COC+事業は、学生が地域の現状を考える良いきっかけになると思います。奈良の地域活性化や課題解決には、「奈良は大学生活で十分」、「田舎で地味な奈良は嫌い」と考えている学生の発想力や想像力も必要となります。多くの世界遺産、豊かな歴史・自然に恵まれた「奈良」というフィールドを通じて、奈良の抱える課題を発見し、解決する力を身につけてほしいと思っています。地(知)の拠点大学として、地域で活躍する女性リーダーになっていただくのが私の願いです。



やまと共創郷育センター支援室 前川 光正 COC+コーディネーター

### 学生記者が実際に授業を受講!!

私は前期と後期に奈良県下市町と連携した授業を受講しました。前期の「コミュニティ・リサーチ」では何度も下市町に赴き、町役場の職員さんや地元の方にお話を伺いながら現状を調査しました。後期の「コミュニティ・アクション」ではその現状を踏まえながら、実際に町のPR動画を作る班とソフトクリームを開発する班に分かれて下市町の町おこしのお手伝いをしました。単に下市町の現状を調査するだけではなく、その現状を知った上で自分たちに何ができるのかを受講を通して主体的に考えることができたので、良かったです。



1 高岡 穂子(たかおか ももこ)  
大学院人間文化研究科博士前期課程  
国際社会文化専攻  
古代文化学コース2回生  
出身校:須磨学園高等学校(兵庫県)

私は大学院で考古学を専攻しており、自身の研究にも直結する「発掘調査補助員」をアルバイトとして行っています。発掘調査と聞いて想像するのは、シャベルで土を掘ったり、出土した埴輪や土器などをハケで掃除したりするようなイメージかもしれませんが、私が担当しているのは、発掘調査を行った遺跡の情報を正確に記録する仕事です。過去の貴重な文化財を記録・保存して未来に繋げる、非常にやりがいのある仕事だと感じています。



2 水田 結衣(みづた あやゆい)  
大学院人間文化研究科博士前期課程  
住環境学専攻2回生  
出身校:兵庫県立加古川東高等学校

私は学部4回生の頃から、薬師寺東塔解体修理工事の調査補助アルバイトとして2年近く携わっています。仕事内容は、現場での部材の実測や拓本採取、加工痕(チョウナ、ヤリガンナ、ノミ、ノコギリなど)の調査のほか、室内でのデータ入力など様々です。大工さんなどプロの方々から囲まれて、実際に動いている現場を定期的に見られることは、木構造を学ぶ私にとってとても貴重な経験であり、刺激をもらいながらアルバイトをしています。



3 中村 有理紗(なかむら ありさ)  
文学部言語文化学科  
日本アジア言語文化学コース4回生  
出身校:栃木県立宇都宮女子高等学校

休ヶ岡八幡宮で巫女のアルバイトをしています。お守りの授与や、七五三・お宮参りの補佐に加え、古くから伝わる行事に携わることもあります。また、月に数回、子どもたちに神楽を教えています。小さな子どもでも、鈴や扇に興味を持ってくれ、祖父母の方からは礼儀作法が身に付けられると好評です。アルバイトを始めるまで触ったことのない神具や、作法ひとつひとつの決まりごとなど、たくさんのお話を学べる環境で、楽しみながら働いています。



7 中島 智加(なかしま ちか)  
奈良女子大学文学部附属高等学校(現奈良女子大学附属中等教育学校)卒業  
現 プティマルシェ & ぶちまるカフェ店主

一お仕事の内容を教えてください  
オーダーケーキの作成と喫茶店の営業を土日のみしています。ケーキは、使用食材や形を依頼者の要望に沿ったものを作っています。友人のために作った古墳ケーキはSNSで広まり、今や、店の看板メニューとなりました。  
一奈良でお店を営まれていることについて  
国内外問わず多くの観光客の方にご来店いただいています。今後は、奈良の街の景観や環境を守っている地元の方にも愛される店を目指しています。  
一高校生や受験生の皆さんへ  
ここ奈良は、お散歩がてらに、世界遺産に行くことができるなど、先祖が脈々と積み重ねてきた歴史を感じられる所です。人、街、自然を含めた全体の雰囲気も素晴らしい、ぜひ皆さんもこの地で生活する特別感を味わいながら、学んでいただければと思います。



## 特集2 奈良女 LIFE

「奈良での生活」と聞いて、皆さんはどんな生活を思い描きますか？このページでは、奈良ならではのアルバイト・仕事に携わる、奈良女生(附属卒業生含む)の声を届けます。ぜひ、奈良を楽しむヒントにしてくださいね!

### 奈良女 LIFE MAP

作:本学美術部のみなさん



作務衣姿を大仏様に見守られ、世界遺産の一角で土産物の販売をしています。大仏殿にある東大寺直轄の売店が私の勤務先です。寺オリジナルの商品は勿論のこと、奈良土産や日本らしい品も取り揃えています。外国語での対応に奔走することもしばしばです。大仏殿は、亡き祖母と訪れた思い出の場所です。あの日の私達のように温かい気持ちになって帰っていただけたらと思いながら、全国・全世界からご参拝される方々との一期一会を楽しんでいます。



4 平尾 美穂(ひらお みのり)  
大学院人間文化研究科博士後期課程  
比較文化学専攻  
欧米地域文化情報学講座1回生  
出身校:滋賀県立膳所高等学校

奈良女子大学は、古代から現在に至るまでの様々な資料を所蔵しています。土器などの考古資料も多くあり、私は、古代瓦の報告書作成に携わっています。奈良に都が置かれた時代に、法隆寺や東大寺などの有名な寺院の屋根に葺かれていた瓦はもちろん、今はない寺院跡から出土した貴重な瓦を、実測図や拓本など考古学の手法を用いて整理し、報告書として刊行する作業です。古代の遺物が千年もの時を経て、自分の手の中にあると思うとワクワクします。皆さんもそんな経験をしてみませんか？



5 高島 梨奈(たかしま りな)  
大学院人間文化研究科博士前期課程  
国際社会文化学専攻  
古代文化学コース2回生  
出身校:高松市立高松第一高等学校

「生活利器 実寸」という古道具屋で働いています。仕事の内容は、接客、掃除、及び商品の手入で、中でも、お客さんと接するときは緊張し、距離感の取り方に迷います。また、色々な国からこの地に来られたお客さんのために、もっと英語が話せたらと思います。新品のようにピカピカしていませんが、古道具には、長く使われてきた「良品」という信頼があります。角が削れてツヤを帯びたその様子に愛着を感じながら、これからも頑張ってお店を働きたいです。



6 野上 真(のがみ まこと)  
生活環境学部生活文化学専攻2回生  
出身校:鹿児島県立鹿児島高等学校

サラリーマンから転職し、地元食材を使ったタイ料理店「RAHOTSU」を2000年2月に奈良市内にオープンしました。そして、客数を増やすためには、まずは地域の活性化からと、自ら数々のイベントを立ち上げていく中で、唯一無二の奈良の魅力に出会いました。東京に奈良の情報発信拠点ができることを知ったのは、そんな折でした。私は、奈良の魅力を伝える仕事がしたいという思いに駆られて上京し、以後8年間、奈良県アンテナショップ「奈良まほろば館」の運営をはじめ、奈良に関連するイベントの企画運営や取材のアテンドなど、東京と奈良を繋ぐ架け橋として働いてきました。また、近年は、社寺関連のセレクトショップ「TERA SHOP GINZA」や奈良を味わうことのできる居酒屋「あをによし」といった、新たなコンセプトショップの展開に力を注いでいます。



8 別所 実(べっしょ みのと)  
奈良女子大学文学部附属高等学校(現奈良女子大学附属中等教育学校)卒業  
株式会社RAHOTSU代表取締役、株式会社FAR EAST代表取締役、一般社団法人東京奈良県人会理事

# 奈良女 LIFE でこんなことも!!



谷瀬で酒米の収穫を行う様子

——谷瀬集落の酒造りに関わるようになったきっかけを教えてください——  
 もともと酒造りが始まる前から、私たちは谷瀬集落の地域づくりに研究室として関わりを持っていました。村の方々が休耕田を見ながらおっしゃった「昔はたくさんお米を作っていたんだけど、今は高齢化が進んで使っていない田んぼが多くある。本当はそこに酒米を植えてお酒なんかを作れたらいいんだけどね。」という冗談のような話から始まりました。そして、学生の参加協力があれば、問題となっている人手不足も解消できそうだとということで、酒造りが始まったんです。今年で二年目になりますね。

——お酒造りの活動へのこだわりは何ですか——  
 何よりもこのお酒を谷瀬集落の方や学生皆が関わって作っているということだと思います。誰か1人が単独で押し進めたのではなく、お米から商品ラベルに至るまで皆が一体となって作ったお酒です。

——ラベルのこだわりポイントはどこですか——  
 単に商品名を表示するだけでなく、集落の方々と学生が協力して造ったお酒ということが読み取ることができるデザインになっ

——実際、どのような形で酒造りに参加したのでしょうか——  
 集落の方々と一緒に、酒米の田植えから始め、収穫も行いました。植え方などを集落の方に教えてもらって、実際に私たちも作業しました。また、美吉野醸造さんに出向いて、酒造りの工程で粗熱を取るために固まっているお米をほぐす作業や、大きな樽の中のお米を掘り出して運ぶ作業も体験しました。お酒の名前とラベルデザインの検討にも参加しました。田植えは5月、お酒が瓶に入ったのは翌年3月末です。完成まで約1年かかっています。余談ですが、谷瀬集落の活性化を目指して「ゆつくり散歩道」という散歩道の整備をし、「とつかわくプロジェクト」と題したフェイスブックを通して、学生目線での谷瀬集落の魅力の発信にも努めています。こうした谷瀬集落を活性化させるプロジェクトのうちの二つが酒造りなんです。

——最後にこれからの目標を教えてください——  
 まずはこれからも継続して、定期的かつ意欲的に谷瀬集落に通い、そこに住む方々との関わりを持ちたいです。今回のお酒プロジェクト以外にも空き家の改修や「ゆつくり散歩道」の看板の修繕など複数のプロジェクトがありますので、それらを膨らませながらより密な関係

——皆さんから見た谷瀬集落の良いところは何かと思いますか——  
 自然がとても豊かな地域なのですが、それ以上に人の温かさが感じられるところです。先述にもある「ゆつくり散歩道」の休憩所として、昔の民家を掃除して開放している「こやすば(小休場)」という場所があります。そこでの気兼ねない会話や、全く何も知らない私たちに丁寧に教えてくださる集落の方々の温かさ、何度も嬉しい思いをしています。集落は田舎なので不便な点も多いです。お借りした民家に泊まると、水が止まることもあります。そんな時も村の方がわざわざ助けに来てくださるんです。住民同士のつながりが深いので、困ったときには助け合ったりお礼をしたりなど、そういった暮らしを実感できるいい村ですね。

## 酒造りで谷瀬の魅力発信 住民の温かさに触れて共に目指す地域活性化



完成した純米酒「谷瀬」



中版 久美子(なかいくみこ) 大学院人間文化研究科 博士前期課程住環境学専攻1回生 出身校 阿南工業高等専門学校  
 多々良 理奈(たたらりな) 生活環境学部 住環境学科4回生 出身校 兵庫県立姫路東高等学校  
 金村 麗華(かねむられいか) 大学院人間文化研究科 博士前期課程住環境学専攻2回生 出身校 明石工業高等専門学校

——つくりができればと思っています。私たちの活動がどんどん素敵な村になるお手伝いになれば嬉しいですね。また、村の良さや温かみを他の地域の方々に知ってもらえるような活動もしていきたいと思っています。奈良女生として谷瀬集落の方々と積極的に関わりを持つことが、若者と地方の関係づくりや地域の魅力の再発見に繋がるのではないのでしょうか。

(学生記者:立岩沙也夏、金倉菜美、太田麻友)

### なら瑠璃絵

本学学生が創り上げるステージは、必見・必聴の価値ありです!!

2月8日~14日、奈良公園一帯で、奈良の冬のイベント「しあわせ回廊なら瑠璃絵2017」が開催され、モダンダンス部が、切れのある見事なダンスでイベントの開幕を飾りました。



また、奈良公園の第137回目の誕生日にあたる2月14日には、Jazzy Clubがジャズライブを開催し、集まった観客らは、奏でられるリズム的な音楽に心躍らせながら、記念すべきバースデーを祝いました。

ここ奈良では、一年を通して多彩なイベントが繰り広げられます。次は、あなたが、その舞台で花を咲かせてみませんか?



### 華道部@ならまち

伝統文化を歴史ある建造物で

2月4日~5日、奈良女子大華道部は、ならまち格子の家で、留学生や社会人の方と一緒に交流展を開きました。

ならまち格子の家は、華道部の先生が毎年華展を開催されている場所で、歴史情緒が感じられる、花を飾るのにぴったりの場所でした。

私は、大学に入って華道を始め、これまで大学の外で花を生けるという経験はありませんでしたが、今回、そのような素敵な場所で花を生けることができ、とても楽しかったです。

これからも、より活動の場を広げることで、華道を通して得られる人とのつながりを大切にしていきたいです。



### ヘルスチーム菜良

大和丸なすを使った野菜たっぷりのピザ、焼きました!

ヘルスチーム菜良は、奈良県内で管理栄養士養成課程がある4大学(奈良女子大学、帝塚山大学、畿央大学、近畿大学)に在籍し、将来管理栄養士を目指している学生で構成される、食育を推進するサークルです。

今回、私たちは大和郡山市のイタリアンレストラン「ピッツェリア サンプレー」さんと共同で、大和郡山市特産の大和伝統野菜「大和丸なす」を使ったピザを開発しました。大和丸なすを丸々1個贅沢に使用し、その他にも大和郡山産の野菜などをたっぷりとのせ、見た目にもこだわりながら2切れで1日分の野菜の約1/3が摂れるように工夫しました。6月3日、4日にイオンモールで行われたピザのイベントも大成功に終わり、大和丸なすの良さを沢山のの人に伝えられたかと思えます。



### 卒論@元興寺

奈良での学びの集大成

筆づくり発祥の地と言われる奈良で造られる筆は、奈良筆と呼ばれています。その伝統的な生産技術は非常に高く、国の伝統的工芸品に指定されています。しかしながら現在、奈良筆は存続の危機に直面しています。そこで、奈良筆の伝統工芸士の皆さんや奈良市内で長きに渡って筆を扱ってこられた問屋の「あかしや」さんのもとに伺い、奈良の筆産業存続に向けた取り組みについて調査しました。書き上げた卒業論文は、その一稿を、国宝・元興寺禅室で卒業式の前に開催された奈良女子大学生による「奈良に関する研究発表会」で報告しました。奈良の地で学んだ4年間の締めくくりとして大変有意義な機会を与えて頂きました。



和歌でたどる上代日本  
『萬葉集』研究を通じて

文学部 言語文化学科  
日本アジア言語文化学コース  
教授

## 奥村 和美

おくむら かずみ

【研究テーマ】  
上代国文学、特に『萬葉集』  
【担当授業科目】  
日本語文化概論A、上代国文学演習II、  
上代国文学講義II



先生の研究内容を教えてください  
上代の和歌集である『萬葉集』の研究を専門としています。上代の文学は奈良の都の宮廷を中心に育まれました。ですから奈良とは深い関わりがあります。『萬葉集』の中でも私は大伴家持の長歌を中心に、特に中国文学からの受容について研究しています。家持の短歌は繊細で優美と評されることが多いのですが、長歌は人気がないのです。その分まだ解明されていない部分が多く、研究のテーマとしては非常に魅力的です。

先生が『萬葉集』の研究にすすまれた経緯は  
もともと本を読むことが大好きでした。高校生の時、日本の古典作品にひかれ、『萬葉集』を面白く思うようになりました。現代文学も好きでしたが文語で書かれた和歌が一番心に響いたのです。大学では主に国文学を学びました。作品そのものだけでなく、作品の批評を読むのも好きだったので、研究の道に進んだのだと思います。

先生が研究をされている面白さを感じていて面白く感じたい例を教えてください  
図1は、建保三(1215)年に催された「内裏名所百首」の二部です。これを読むと『萬葉集』が中古中世にどう読まれたかよくわかります。この部分は、順徳天皇が歌人達に、「夏天香具山」を題にして詠ませた歌が並んでいます。当

時の歌人は奈良へ行ったことがなくても、『萬葉集』に載り、「百人一首」にも採られた持統天皇の歌「春過ぎて 夏きにけらし 白妙の 衣ほすてふ 天の香具山」をもとに香具山のイメージを思い描き、自分の歌に引用しています。この時代、香具山は、あの天照大神が「時姿を隠した」という天岩屋戸神話の舞台の一つと考えられている。そういつ古代神話を強くイメージさせる場所でした。順徳天皇の歌には、「白妙の衣ほすてふ」とあります。方、行意という歌人の歌には、「衣かわかす」とあります。「かわかす」と「ほす」では意味合いが異なりますよね。「ほす」は、季節が変わり衣更えの前に虫干しすることを表しています。しかし、「かわかす」はなんだかくつしより濡れたものを干しているような感じですよ。この表現の違いは、実は、もとの持統天皇歌に対する解釈の仕方が読む人によって異なったということでもあるのです。「ほす」だと、衣更えを背景にした歌、とすると、「かわかす」の場合、どういふ背景をもつ歌と解されていたのでしょうか。

研究のやりがい、面白さは何ですか  
研究をすればするほどわかってくることもありますが、逆にそれと同時にさらにわからないことも出て来て探求が尽きないところです。『萬葉集』の諸本研究にしても、もし、『萬葉集』原本が発見されたら、それで終わるのかというところではありません。何故それが現存の写本のような姿に変わっていったのか、など様々な問題が現れ、研究は続いていきます。

これからの目標は何ですか  
『萬葉集』だけを見るのではなく、文学史の中で『萬葉集』がどう位置づけられるのか、もう少しはきりさせたいと思っています。また、

昆虫や動植物に興味を持ち始めたきっかけを教えてください  
幼稚園の時に両親が買ってくれた図鑑に魅せられたのがきっかけです。

学生時代はどのようなことをしていましたか  
学部の時、勉強以外だと本を読んだり、野宿しながら昆虫採集をしたりしていました。研究に関してだと、卒業研究では酵素の生化学的特性を調べていました。修士1回生では札幌市郊外の森林で蛾類相の調査、2回生ではアフリカのケニアで農業害虫の調査をしていました。博士課程では、夏は幼虫が葉に潜る蛾の生態を研究し、冬はケニアに行つてタマオシコガネの生態を研究していました。学生のときに貫した研究をしていないのは、珍しいと思っています。

研究でやりがいを感じることは  
一生懸命取ったデータを統計的に分析している時が一番楽しいです。予測と違う結果になったとしても、次の課題が見つかったということですので、それはそれでやりがいを感じます。

先生はシカについての研究をまとめた本を出していますが、シカについての研究をしようと思ったのですか  
20年ほど前に卒論生



理学部 化学生命環境学科  
生物科学コース  
准教授

## 佐藤 宏明

さとう ひろあき

【研究テーマ】  
動物と植物の進化生態学的相互作用、  
遊楽性類群の分類  
【担当授業科目】  
進化生態学、生命圏の地球化学、動物生態学実習、  
なら学

奈良公園の“いま”を見つめて  
鹿との共生 私たちはどうするべきか

シカに関する現状の問題は何ですか  
シカは日本全国で急速に頭数を増やしています。シカはとても食い意地の張った草食動物で、木の芽や若木を食べたり、木の皮までも食べたりするので、頭数が増えると生態系の生態系を大きく変化させてしまうのです。実際、春日山の原始林も荒廃し始めています。シカ自身も問題を抱えていて、奈良公園のシカは食糧不足で、他の地域のシカと比べて痩せ気味と言われています。

シカが好む植物と好まない植物があるというお話がありました。奈良公園の生態系のバランスはとれているのでしょうか  
古い木が枯れて倒れ、ぼっかり空間ができても、そこに若い木が成長してくることがバランスがとれている状態だとしたら、春日山の原始林はバランスが崩れていると言えます。通常、そういった空間には周囲にある樹種の若木が生えてくるのですが、春日山ではそうした若木はシカに食べられてしまっています。なので、今の親木が枯れてしまつたら、次に生える木はシカが嫌いな樹種ばかりになってしまっています。シカの頭数が今のままだったら、春日山原始林が存続するのは絶望的です。シカの増加に伴って、高円山の雑木林もかなり変わってきています。10年ほど前まではササなどの下草が生い茂った歩きにくい林だったのですが、今はシカが下草を食べてしまい、すっかり歩きやすくなっています。そのかわり、シカの血を吸うヤマビルが多くなつていて、自分の足に吸いついているヤマビルをみたら、ド

和歌史の中で大伴家持をどのように位置づけるのかということも大きなテーマです。さらに、その時に、中国文学の影響が作品の形成にどう働いたのかをしっかりと押さえる必要があります。上代の人々は漢字に習熟しないと読み書きができません。そうすると中国文学について高度な知識、教養を持つていくことが重要になります。日本の和歌と中国文学は決して別々のものではなく、中国文学、とくに中国の詩から様々な優れた表現を和歌に取り入れています。中国文学の中で具体的に、どのような書物のどのような詩のどのような表現を参考にしたのかというところまで押さえることをこれまで意識してきたので、そういう実証的な姿勢を継続していきたいです。その積み重ねによって、家持が中国文学から何を学びとり、それによってどのように独自の文学の世界を作り上げていったのかということをも明らかにしたいと考えています。

奈良女生、高校生へメッセージをお願いします  
香具山や吉野など、奈良は特に上代の文学作品の舞台となつたところが多いので、文学作品を味わう上ではとても恵まれたところです。実際に奈良の地を訪れ、舞台となつたその場に立つことで文学作品への親しみを持つてもらえたらと思います。

野内瑞生、坂本梓

奈良公園の自然と、その周りの人のかわり方はどうあるべきでしょうか  
シカによる春日山原始林への影響を考えれば、単にシカが「かわいい」では駄目です。シカは観光の一端としてすっかり持ち上げられているけれど、市民はきちんと問題点を認識して、意識を変えることが必要だと思います。行政もシカを保護するだけでなく、何か措置を取らなくてはいけないでしょう。そのためにも研究者はいろいろな情報を発信すべきだと感じています。

最後に、読者にメッセージをお願いします  
最近みんなスマートフォンで時間を潰しがちです。電子化された情報を通してではなく、フィールドワークのように自分の目と足で楽しいことを見つけてほしい、と切に思います。

(学生記者：金倉菜美、中根明日香)



シカに対する防御として多数の刺毛を備えた奈良公園のイラクサ

「内裏名所百首」の一部  
東 天香具山天香具山  
西 天香具山天香具山  
南 天香具山天香具山  
北 天香具山天香具山  
東 天香具山天香具山  
西 天香具山天香具山  
南 天香具山天香具山  
北 天香具山天香具山

# 教養広場

伝統的木造建築の耐震性  
と文化財の持つ「しなやかさ」

生活環境学部 住環境学科  
講師

瀧野 敦夫

たきの あつお

【研究テーマ】  
木質構造の耐震性能評価  
【担当授業科目】  
建築一般構造学、建築構造力学・材料力学演習



先生の研究内容を教えてください  
寺院や神社、昔ながらの民家といった伝統的な木造建築物を中心に、その振動特性や耐震性を検証する研究をしています。中でも特徴的なのは、伝統的木造建築物において「超高層」とされる三重塔や五重塔の研究です。木造多重塔が建てられた当時は、建築に関する法律や取り決めはありませんでした。そのため、現存する伝統建築物について、建物全体の構造形式や板壁・土壁といった各耐震要素などの程度の強さを持つているかを検証するなどして、現在の耐震基準に照らし合わせて安全性や改善点を調べていく必要があるのです。

同じ多重塔であっても、それぞれ建物によって振動特性は異なるのでしょうか  
そうですね。振動特性には振動理論がベースにあります。建物が柔らかい方がゆっくりとした周期・振動に反応するという考え方で、要は建物が高くなればなるほど、柔らかくなるのでゆっくり揺れやすくなります。ですから同じ多重塔であっても、建物自体が高くなれば一般的にゆっくり揺れまわす。とはいえ最終的に建物が壊れるかどうかは、建物の持つ強さにもよります。それぞれの建物にも個性があるので、個別の検証が必要なのです。

奈良を代表する文化財・興福寺三重塔は一般的に耐震性に優れているのでしょうか  
詳しく調査していないので「分からない」というのが実情です。今言えることは、地震はゆっくり揺れるよりも、早く揺れる方がエネルギーを出しやすいのです。三重塔はもともと建物が高くてゆっくり揺れるので、地震の時は揺れのパワーが減ります。その観点から見れば、耐震的には多少有利であると言えますね。

同じく奈良を代表する薬師寺・三重塔はいかがですか  
薬師寺は今まさに調査を始めたところですが、現代の建物と違い、昔の建物は図面がないので、伝統建築のディテールは解体してみないとよく分かりません。建物を詳細に調査するためには、全容が解明されないといけませんからね。ですから薬師寺にお願いして勉強させてもらっています。薬師寺の現場には、私のゼミ生もアルバイトに行っています。そういう点を加味しても、すぐ近くに解体修理工事を行っている現場があるのは、奈良に地の利があると言えるでしょうね。

最後に奈良女生や奈良女を目指す高校生にメッセージをお願いします！  
私の研究は実社会の役に立つ「実学」を目指しています。机上の研究だけではなく実際の建物に関する研究は本当に面白いですし、文化財の建物に携わる機会が多い奈良の土地にも魅力を感じます。様々な文化財を見学できる上に調査に携わることもできます。将来どんな道に進んでも、学生時代のこの貴重な経験は本当に良い勉強になると思います。高校生の皆さんにもぜひそのような分野に興味を持ってもらい、奈良という土地に対して面白いと感じてほしいですね。

検証の中での苦労は  
破壊実験をするための試験体は、実は自分で全部設計しています。手探りなので失敗もありますが、それもよい経験になっています。



## 本号の 学生記者、協力学生！



太田 麻友(おおた まゆ)

文学部人文社会学科2回生  
出身校:静岡県西遠女子学園高等学校  
文学部所属の私が、生活環境学部の先生に取材をするという貴重な経験をさせていただきました。「奈良だから出来ること」を大切に、これからも記者として努力してまいります!



土居 佳心(どい よしみ)

生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース3回生  
出身校:済美平成中等教育学校(愛媛県)  
やまと共創郷育と、ハイパーさんの記事を担当しました。書きたいことと書けることのギャップに戸惑いましたが、楽しんで出来ました!取材を通して毎回世界が広がっています!



金倉 菜美(かなくら なみ)

文学部人文社会学科文化メディア学コース3回生  
出身校:神戸大学附属中等教育学校  
取材を通して、奈良女生の視点、奈良女の先生の視点を知ることができ、非常に興味深かったです。今後も記者活動を通して、自分の見識を広められれば良いと思います。



中根 明日香(なかね あすか)

理学部数物科学科数物連携コース2回生  
出身校:四天王寺高等学校(大阪府)  
現場に実際に足を運んで取材したのでその空気を直接感じることが出来ました。今後も、より多くのものを自分の目で見て、耳で聞いて、新しい発見をしていきたいと思っています。



坂本 梓(さかもと あずさ)

文学部人文社会学科社会情報学コース3回生  
出身校:兵庫県立伊丹北高等学校  
教養広場(文学部)とやまと共創郷育に関する記事を担当しました。取材先の方々の活動・研究への情熱を文字にすることは大変でしたが、少しでも伝わっていたら嬉しいです。



野内 瑞生(のうち みずき)

大学院人間文化研究科博士前期課程  
心身健康学専攻生活健康学コース1回生  
出身校:福島県立安積高等学校  
今回のテーマは奈良女ローカルということで、「奈良だけの」または「奈良女だけの」魅力がいっぱい詰まった一冊になっていると思います。楽しんで読んでください!



立岩 沙也夏(たていわ さやか)

文学部人間科学科心理学コース3回生  
出身校:愛知県立時習館高等学校  
今回は数人のチームでインタビューを行いました。1人1つ担当とは違う難しさもありますが、一緒に活動することの少ない学生記者仲間との共同作業は新鮮で楽しかったです。



8~9ページのマップ「奈良女LIFE」は美術部のみなさんにご協力いただきました!▶

### 学生表彰

## 平成28年度学生表彰

奈良女子大学では、課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた学生の個人又は団体を年に一度表彰しています。平成28年度の表彰式が、平成29年2月7日(火)に行われました。受賞者・団体は以下の通りです。(学年は平成28年度のものです。)

#### 【個人表彰者】

氏名	所属	サークル等	表彰対象となった業績
米倉 日奈子	文学部言語文化学科 3回生	合気道部	第35回関西学生合気道新人競技大会 演武競技女子 対武器の部 優勝 (H27.12.13) 第36回関西学生合気道競技大会 演武競技女子 対徒手の部 優勝 (H28.6.12) 第47回全日本学生合気道競技大会 演武競技女子 対武器の部 準優勝 (H28.11.6)
森 木乃美	文学部言語文化学科 3回生	合気道部	第35回関西学生合気道新人競技大会 演武競技女子 対武器の部 優勝 (H27.12.13) 第47回全日本学生合気道競技大会 演武競技女子 対徒手の部 準優勝 (H28.11.6)
前田 沙希	理学部化学生命環境学科 2回生	合気道部	第36回関西学生合気道競技大会 演武競技女子 対徒手の部 優勝 (H28.6.12)
浅井 沙良	生活環境学部情報環境学科 3回生	合気道部	第47回全日本学生合気道競技大会 演武競技女子 対武器の部 準優勝 (H28.11.6)
山崎 美波	理学部化学生命環境学科 3回生	合気道部	第47回全日本学生合気道競技大会 演武競技女子 対徒手の部 準優勝 (H28.11.6)
山下 結子	理学部化学生命環境学科 2回生	硬式テニス部	第40回奈良学生テニス選手権大会 女子シングルス 優勝 (H28.11.26)

#### 【団体表彰者】

サークル等	表彰対象となった業績
剣道部	第54回近畿地区国立大学体育大会 剣道の部 女子団体 第3位 (H28.8.21)



(学生記者:立岩沙也夏、太田麻友)



# 奈良で活躍する卒業生からのメッセージ

「わたしのまち」と  
「わたしのこころ」

奈良で暮らして7年目。大学卒業後は寺社仏閣や観光分野に触れながら、印刷会社の営業として奈良市内を車で駆け回る毎日を送っています。

大学生活を振り返ると、胸を張って「好き！」と言えるものを、学業やアルバイト、軽音楽部の活動等しながらぼんやりと探していた気がします。そして、友人に誘われて始めたフリーペーパー制作が「奈良が好き！」と思うきっかけ、ひいては、今の仕事を選択するきっかけになりました。大学周辺の素敵なスポットを紹介したいという思いのもと、企画・取材・編集をし、最終的には一冊の冊子を創り上げた経験が私のキャリアの原点です。

皆さんは、印刷会社の営業の仕事という何を想像するでしょうか。私の仕事は…、情報を形にするお手伝いです。形とは様々で、印刷物以外にWEBの時もあります。この冬は、女性の活躍応援ジャーナル「Compass」創刊号（平成29年2月奈良県発行）発行のお手伝いをしました。奈良県内で子育てを



金子 幸加  
かねこ ゆか  
現職：株式会社TJCO  
理学部物理科学科  
出身校：茨城県立水海道第一高等学校

しながら働く女性の割合は全国平均を下回る現状がありますが、子育てと仕事の両立を望む女性に対し、「私は何ができるかな？」と自問しながら、県職員の方と一緒になって試行錯誤を重ねました。

私は奈良県出身ではありませんが、すでに今までの人生の約3割も年月を奈良で過ごしています。内側からみた奈良の良さも、外側からみた奈良の良さも感じていまして、これから、まだまだ私の知らない奈良も発見できることでしょうか。暮らしや仕事において、「私は奈良でもっと色々なことができるぞー」と思っています。奈良女子大学を目指す高校生の皆さん、奈良は素敵なお場所です。卒業生の皆さん、いつでも奈良へ帰ってきてください。



奈良県発行のジャーナル「Compass」  
→奈良県庁ホームページでご覧いただけます

学生時代に出会った  
好きを仕事に



御池 友里子  
おいけ ゆりこ  
文学部人間科学科人間関係行動学専攻  
現職：奈良県庁地域振興部  
出身校：東京都立青山高等学校

みなさん、「奈良」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。東大寺の大仏？奈良公園の鹿？でも、奈良はそれだけじゃないんです！私が奈良の奥深い魅力に興味を持ったのは、奈良女子大学での「なら学」という授業がきっかけでした。「なら学」は、文学部の先生方によるリレー形式の講義で、歴史学や地理学、社会学、民俗学など様々な切り口から「奈良」を読み解くというユニークなものなんです。私は、現代的なテーマ（正倉院展のメディア戦略、奈良県の産業など）や奈良市以外の地域のことを学び、奈良に対するイメージがガラリと変わりました。また、「なら学」に関連する授業の受講や自分の足で奈良を見て回ることを通じて、「まだまだ知らない奈良の魅力は多くの人に知ってほしい」と強く思うようになりました。

そして現在、私は大好きな奈良に関わる仕事に就き、3月までの3年間は、念願の首都圏における奈良県のPRに携わりました。都内の旅行会社や出版社を1人で訪問する際には、プレッシャーも感じましたが、自分が提供した情報が旅行商品やメディアを通じて何千、何万もの人に伝わっていくことに大きなやりがいを感じました。また、勤務場所であったアンテナショップ（奈良県の特産品を販売するショップと観光情報コーナーを併



奈良女の講座も開催しているアンテナショップ「奈良まほろば館」

## クラブ紹介 剣道部

### 「剣の道」を歩む

私たち剣道部は、強く、賢く、美しく、をモットーに日々稽古に励んでいます。剣道部の魅力は、経験歴や実力に関わらず、「剣道が好き！」という気持ちがある人なら誰でも一生懸命、稽古に打ち込めることです。現在部員は3回生が6名、2回生が2名、1回生が2名と少人数ではありますが、それがゆえ、部員同士の距離が近く、先輩や後輩の壁を越えてお互いにアドバイスをし合い、切磋琢磨することができます。



川上村剣道教室での指導の様子

また、先生方の丁寧できめ細やかなご指導や、OGの先輩方からの多大なご支援により、学生が剣道に集中して取り組むことができる環境が整っています。さらに、私たちは剣道を通して、奈良県南東部に位置し、師範の出身地である川上村を活性化する活動にも携わってきました。毎年8月、川上村では村全体が丸くなって行う、非常に重要な村おこしのイベント「川上村剣道交流大会」が開催されますが、この大会において、私たち剣道部は、細部にまで行き届いた会場設営に努め、声を枯らしながらも会場を駆け回り、出場選手の点呼や整列を助けます。そして、その姿は、村の方から高い評価を頂いています。また、昨年度は9月に、川上村の剣道教室において、村の子どもたちや保護者の方々に剣道の指導を行い、身体を動かすことの楽しさや、剣道の新たな楽しさ一面を体験していただくことができました。剣道部の活動では、普通の大学生活では味わえないような貴重な経験を通して、人と人をつなぐ剣道の魅力を改めて実感することが出来ます。かけがえのない学生生活、ぜひ皆さんも、私たちと共に、人間形成の道である、「剣の道」を歩んでみませんか。



成岡 冴  
なりおか さえ  
生活環境学部生活文化学科3回生  
出身校：帝塚山高等学校奈良校

## わかたけ会

### わかたけ会の活動について

私が所属するわかたけ会は、軽度の発達障害を抱えた子どもたちとの交流会をボランティア活動として行うサークルです。活動は月に約1回のペースで、その内容はバーベキューをはじめとする調理体験や工作、施設見学、隔年で実施される泊りがけのキャンプなど、様々です。また、一緒に活動している子どもたちは、京都府八幡市にある「手をつなぐ親の会」という障害者支援の団体に所属しており、その年齢は、3、4歳の幼い子から高校生まで幅広いです。

年齢も障害の程度も違う子どもたち全員に楽しんでもらえるようなレクリエーションを考えたり、それぞれの子どもの合った遊び方や接し方を考えたりするのもわかたけ会の大事な活動の一つです。昨年は、わかたけ会の部員が考えたレシピによるお料理会や、京都の日吉山の家というキャンプ場での泊二日のキャンプのほか、12月にはクリスマス会を開きました。鉄道博物館の見学では、子どもたちと同様に、私たちも楽しんで館内を見て回ったことが印象に残っています。また、わかたけ会は「手をつなぐ親の会」との活動とは別に、奈良県立医科大学の学生が行う「みのむしの会」にも参加させていただいています。「みのむしの会」では子どもたちとの交流に加え、親御さんと養護学校の



佐藤 実於  
さとう みさき  
文学部人間科学科心理学コース4回生  
出身校：大分県立高等学校大分校

スタッフさんのお話をじっくり伺う機会が設けられています。そのため、「手をつなぐ親の会」の時とはまた違った視点からの知識や情報を得ることができ、それは現在の障害者支援や福祉についての知識を深めることにつながります。わかたけ会での活動は、学びの宝庫です。将来、キラリと輝く社会人となるためにも、これからも活動を続けていきたいです。



お料理会の様子

## Campus Topics

### 1000年が生きた奈良で学ぶ

奈良では1266年も連続してきたお水取り、連続882年目の春日若宮おん祭、1300年ほど前に建立された法隆寺金堂や薬師寺東塔など1000年が目の前に生きています。1000年は世代でいえば30世代です。子供が二人、孫が四人と順調に増えたとき、30代目では10億人が親戚となります。そのように考えると争いはあっても許す、寛恕の心が文化として醸成されてきたと思います。

奈良女子大学は前身の奈良女子高等師範学校創立から数えて108年目ですが、記念館は創立時の佇まいを保存しています。奈良を代表するホテル、奈良ホテルも全く同時代の建物です。ここには100年が生きています。大学に入学して博士後期まで進学すると9年を要します。この時間は10年と見ることができます。

このように奈良では10年、100年、1000年のマルチ・タイムスパンが息づいています。稲は1年、木は10年、人は100年の計画という言葉があります。そうすると文化が1000年でしょう。霊長類学者の松沢哲郎氏は人の特徴は想像力であると言っています。未来を想像して何年も学ぶことは人の特徴なのです。それにしても1000年先を想像するのは凄いいことですね。



### 2017年度国立大学法人奈良女子大学説明会・模擬授業を開催中!

奈良女子大学は、今年度も引き続き、全国8会場(東京・金沢・浜松・名古屋・大阪・神戸・広島・福岡)で大学説明会を実施(9~11月)するほか、今年度からあらたに、2会場(名古屋6月・東京9月)で3学部の教員による模擬授業を開催中です(東京9月は、授業と説明会を同日開催します)。

大学説明会では、会場地出身の学生が個別相談も受け付けます。是非、お近くの会場に足をお運びいただき、本学教員及び学生の生の声を通して、奈良女で学ぶ楽しさを感じてみてください。



## 奈良女子大学なでしこ基金

### 「なでしこ基金」へのご協力ありがとうございます



皆様方によるなでしこ基金へのご理解のもと、平成28年4月1日より平成29年3月31日までの1年間に、20,784,315円(古本募金 301,564円を含む)のご寄附をいただきました。心から、温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。

なでしこ基金事業では、平成28年度、学業が優秀な学生21名(学長賞19名、稲葉カヨ記念教育研究奨励賞2名)に対し、その努力と成果を称えるため賞金を授与しましたほか、環境機器株式会社様からのご寄附を原資とする「環境機器奨学金」を、2名の学生に対し給付しました。

また、国際交流分野におきましては、外国人留学生への奨学金や本学学生の留学援助を目的とした派遣留学奨学金に加え、受入れ留学生増加のためのホームステイ経費等として活用させていただきました。さらに、本学記念館内の設備整備を目的としてご協力をお願いしました「記念館募金」につきましては、その全額を記念館2階講堂の長椅子修理費用として、有効に使用させていただきました。

なでしこ基金は、昨年9月から、経済的理由により修学に困難がある学生を支援するために「修学支援特定基金」を設けました。この制度では、ご寄附の際の税制優遇措置として、税額控除か所得控除のいずれかを選択していただくことが可能です。

また、皆様からご提供いただきました書籍・DVD等の買取金額を本学がご寄附として受領する仕組みである「古本募金」も引き続き受け付けております。

県外学生が多い本学では、学生寄宿舎の充実が大きな課題です。

今後も学生に質の高い修学環境を提供すべく努力してまいりますので、引き続き、更なるご支援を賜りますようお願いいたします。



平成29年度「環境機器奨学金」  
奨学生採用決定通知書授与式

なでしこ基金  
ホームページは  
こちら



## 入試情報

## 平成30年度入試情報

大学院博士前期課程・後期課程の入試についてはホームページをご覧ください。▶[http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2\\_b.html](http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2_b.html)  
※理学部化学系生命環境学科は、平成30年4月から化学系生命環境学科に名称変更します(申請中)。

学部	学科等	入学定員	日程区分・募集人員					学べる内容
			一般入試		AO入試	推薦入試	私費外国人留学生入試	
			前期日程	後期日程				
文学部	人文社会科学科	60					時間(歴史)・空間(地理)・関係(社会)をテーマに学びます。古代文化学、歴史学、社会情報学、地域環境学、文化メディア学の5コース制。 世界の主要言語・文学・文化現象を学び、国際社会で活躍する人材を育成します。日本アジア言語文化学とヨーロッパ・アメリカ言語文化学の2コース制。 社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点をあわせ、人間の存在と形成について総合的に学びます。教育学・人間学と心理学の2コース制。	
	言語文化学科	50	99	45	6	—		
	人間科学科	40						
	小計	150	99	45	6	—		
理学部	数物科学科	63	35	20	—	8	自然現象に対して数理的手法を駆使し、広い視野を持ち、変化し続ける社会に対応できる人材を育成します。数学、物理学、数物連携の3コース制。 物質や生命とそれらを取り巻く地球環境を総合的に捉えた視野を持つ人材を育成します。化学、生物科学、環境科学の3コースがあります。	
	化学系生命環境学科*	化学コース	23			4		
		生物科学コース	23	12	—	4		
		環境科学コース	17			4		
小計	150	98	32	—	20			
生活環境学部	食物栄養学科	35	20	10	—	5	専門性の高い講義や実験、実習を通じ、食と栄養のプロフェッショナルを育成します。所定単位修得で栄養士免許や管理栄養士受験資格などが得られます。 心と身体の健康について総合的に学びます。生活健康学、スポーツ健康科学、臨床心理学の3つのコースがあります。 安全で快適な衣環境の構築やライフコンピューティングにより生活改善の能力を培います。衣環境学と生活情報通信科学の2コース制。 安全・安心で快適に生活できる住環境を創造できる力を培います。学びの対象はインテリア、建築から地域コミュニティ、都市計画と広範囲に及びます。 生活を取り巻く様々な文化現象を、法律・歴史・ジェンダーなど多様な視点から分析します。生活文化の向上に貢献できる人材を育成します。	
	心身健康学科	40	22	8	—	10		
	情報衣環境学科	衣環境学コース	35	10	5	—		5
		生活情報通信科学コース		11				4
	住環境学科	35	23	7	—	5		
	生活文化学科	30	18	7	—	5		
小計	175	104	37	—	34			
合計		475	301	114	6	54	若干名	

備考(1)文学部においては、前・後期日程とも、学科別の志望は認められません。第2次から各学科に所属することになります。その際、定員を超過する学科については選考を行うことがあります。なお、AO入試については、本学が指定する2つの分野の中から1つを選択して志望してください。  
(2)理学部数物科学科においては、第2次から数学コース、物理学コース、数物連携コースのいずれかに所属することになります。入試の時点ではコース選択を行いません。理学部化学系生命環境学科前・後期日程では志望するコースを選択してください。なお、前期日程においては第3志望までコース選択することができます。後期日程においては、コース毎の募集人員は定めていませんが、学科内で第2志望までコース選択することができます。  
(3)生活環境学部においては、前・後期日程とも第3志望まで学科(情報衣環境学科はコースまで)を選択することができます。心身健康学科においては、第3次からコースに所属することになりますが、定員を超過するコースについては選考を行うことがあります。情報衣環境学科については第1次からコースに所属することになります。後期日程については、総合得点により衣環境学コース及び生活情報通信科学コースを一括で合否判定します。  
(4)各学部学科で受験を要する教科科目、配点及びその他入試に関する詳細情報については必ず平成30年度入学者選抜要項を確認してください。  
(5)各学部の前期日程の募集人員には、本学附属中等教育学校との高大連携特別教育プログラムに基づく特別入試による募集人員(文学部2名以内、理学部2名以内、生活環境学部3名以内)を含みます。  
(6)私費外国人留学生入試は、各学部の入学定員外で募集します。

## 就職情報

## 学生の就職活動の現況と奈良女子大学の取り組み

就職活動は3回生の冬から本格スタートとなりますが、インターンシップへの参加・各種セミナーへの参加など、3回生の春からしっかりと準備していく必要があります。奈良女子大学では在学生の就職活動の支援を目的に、主に以下のサポートを行っています。他にも学生個々の状況に合わせて、柔軟にサポートを実施しています。

- ▶ **キャリア・アドバイザーの個別相談(予約制)を行っています!**  
キャリア・カウンセラー資格をもつ2名のキャリア・アドバイザーが個別にアドバイス等を行っています。平日は原則毎日相談が可能で、進路選択・就職活動上の悩みや疑問など、どんなことでも相談できます。在学生だけでなく、卒業生も利用できます。
- ▶ **企業就職・公務員・教員セミナーを開催しています!**  
より効果的な就職活動ができるように、就職活動対策や教員・公務員採用試験対策等、時期に応じて必要な内容を設定し、年間約40回開催しています。内容の詳細や日時・教室の変更等は、HP(<http://koto.nara-wu.ac.jp/syusyoku/adr.htm>)で随時お知らせしています。
- ▶ **キャリアサポートルームで様々な情報を得ることができます!**  
キャリアサポートルームではパソコンやプリンターが使用できるほか、就職関連の書籍・雑誌・新聞や公務員や教員、地方就職に関する情報などを取り揃えています。

### 平成28年度の実績 (詳しくは<http://koto.nara-wu.ac.jp/syusyoku/syusyoku.htm>をご覧ください)

- 文学部 : 就職者129名(就職率93%<前年度95%>) : 大学院進学者29名
- 理学部 : 就職者 83名(就職率94%<前年度91%>) : 大学院進学者97名
- 生活環境学部 : 就職者122名(就職率98%<前年度94%>) : 大学院進学者33名
- 大学院博士前期課程 : 就職者123名(就職率89%<前年度93%>) : 博士後期課程進学者20名



文学部	西日本旅客鉄道、日本郵政、イオンリテール、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険、デロイト・トーマツコンサルティング合同会社、京セラ、大和証券、朝日新聞社、朝日テレビほか 学校教員9名、公務員(国家・地方):28名
理学部	グローリー、クオリアブス、ピオフェルミン製薬、(一財)日本食品分析センター、三菱電機、日本電気、富士通、日産自動車、デンソー、横田製作所、住友電気工業、西日本電信電話、日立システムズ、スマイ情報システムほか 学校教員5名、公務員(国家・地方):11名
生活環境学部	味の素冷凍食品、アジッコ、(一財)日本食品分析センター、横コスモス食品、(一財)近畿健康センター、横ワコール、横千歳会、横一栄工務、大和ハウス工業、JR日本不動産開発、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ、ダイキン工業、横山本金属製作所、凸版印刷、東洋紡、横近鉄百貨店ほか 学校教員4名、公務員(国家・地方):23名
大学院博士前期課程	(公財)ユネスコアジア文化センター、日本司法支援センター(法テラス)、ローム、横日立製作所、三菱電機、Hitachi日立造船、横島津製作所、横野村総合研究所、日本食研ホールディングス、アース製薬、東洋ゴム工業、新日鉄住金、ニッパ、トヨタ自動車、日本電産、富士通、パナソニック、(一財)カケンテストセンター、カゴメ、グリコ栄養食品、横Z会、西松建設、横NTTファシリティーズほか 学校教員7名、公務員(国家・地方):14名

# 東野圭吾の作品をベトナム語に翻訳した留学生のハイパーさんにインタビューしました!!



Ha, Nguyen Hai (グエン・ハイパー)  
大学院人間文化研究科博士前期課程国際社会文化学専攻文化メディア学コース2回生

日本の小説をベトナム語で発信するハイパーさん。小説の翻訳に至った経緯や活動について迫りました。

## ——小説の翻訳を始めたきっかけを教えてください

ベトナムのハノイ大学で、主に通訳の資格取得を目指す目的で日本語を学んでいました。大学3年生の時、明治大学に1年間留学したのちハノイ大学を卒業し、JICA(国際協力機構)に就職しました。JICA(国際協力機構)では主に翻訳の仕事をしていましたが、ある日出版社から日本語の小説を翻訳してもらえないかというオファーが来ました。高校生の時から、趣味で小説を翻訳していたため快諾し、それがきっかけとなり日本語の小説をベトナム語に翻訳するようになりました。

## ——なぜ東野圭吾なのですか。日本とベトナムの小説で異なるところは

初めて日本の小説をベトナム語に訳す仕事を受けた時の作品が東野圭吾の『虚ろな十字架』だったからです。もともと『白夜行』などの東野圭吾作品には興味を持っていました。ベトナムと日本の小説の違いですが、例えば、戦時中に生き抜く人の生き様のように「自分の信念をどこまで貫くか」のようなヒューマンドラマがベトナムでは多いです。一方で日本の小説は、村上春樹の作品のように、細かい描写で人物の心の動きを表したり、情景描写が凝っていたり、時にはどのように捉えたら良いかわからないような繊細な表現が特徴的だと感じますね。

## ——国が違うと、言葉のニュアンスも異なるのではないですか

例えば、ことわざや四字熟語には、同じような言い回しがベト

ナム語にもあり、そこではさほど苦勞しませんでした。一方で翻訳するのに一苦勞なのは、漫画ですね。日本と言えば漫画文化ですが、漫画は文字数が限られ、擬音語がたくさん出てくるため、小説よりも翻訳の難易度が高いです。どうしても翻訳できないもの、例えば、日本固有の文化に由来するものや表現については、日本語を使い、注で補足します。



タイトル: Thanh gia rong  
出版社: SkyNovel & NXB Hoi nha vac  
著者: 東野圭吾 (Higashino Keigo)

自ら翻訳した東野圭吾作品では、残酷な殺人シーンの描写が多々あります。このようなシーンはベトナムで出版するにあたり、カットすることも少なくありません。日本の小説では表現の自由が広く認められていると感じました。ベトナムの書店では、主に英語圏の本が多く並んでいますが、ここ2、3年は日本の小説へのニーズも高まっており、私自身も将来もっとたくさんの作品を翻訳していきたいと思います。

## ——高校生へのメッセージをお願いします

私は東京の大学で留学を経験しましたが、学生人数が多く、まだ日本語に慣れていない時期は苦しかったです。奈良女子大学は少人数だからこそ、先生たちが1人1人に丁寧な指導をしてくださり、また自分の意見も言いやすいため、新しい発見が生まれます。のびのびと学習できる環境に恵まれています。私は、奈良女子大学に来て、興味を持っていた漫画の翻訳に関する研究を進めてきました。「いつかは自分で翻訳したものを出版する」という夢も実現しました。皆さんもこの大学で、自分の夢を見つけ、叶えてもらえればと思います。(学生記者: 土居佳心、中根明日香)



編集・発行/奈良女子大学広報企画室 編集責任者/室長 小路田泰直 連絡先/奈良女子大学総務・企画課  
〒630-8506 奈良市北魚屋東町 Tel 0742(20)3220 Fax 0742(20)3205 E-mail somu02@jimu.nara-wu.ac.jp  
ならじょ"Today"へのご意見・ご感想を是非お聞かせ下さい。より良い誌面作成のため皆様の叱咤激励をお待ちしています。(編集部)

■バックナンバーはHPをご覧ください。▶ <http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/today/index.html>